

Kawasaki ZX-14R/ABS/High Grade Slip-On HEPTA FORCE サイクロン 2本出し EXPORT SPEC 政府認証

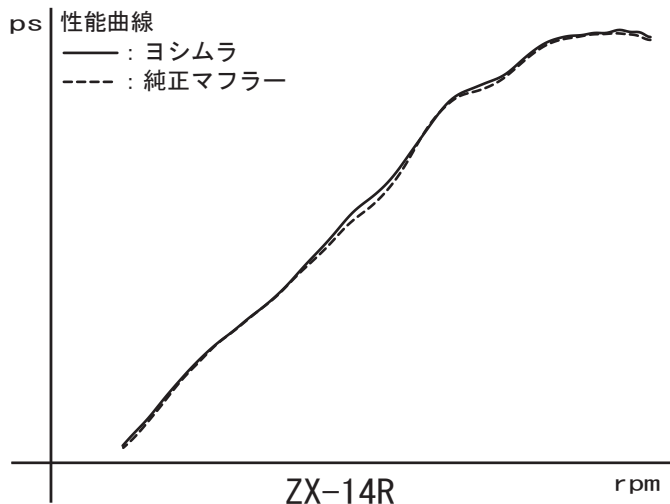
取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

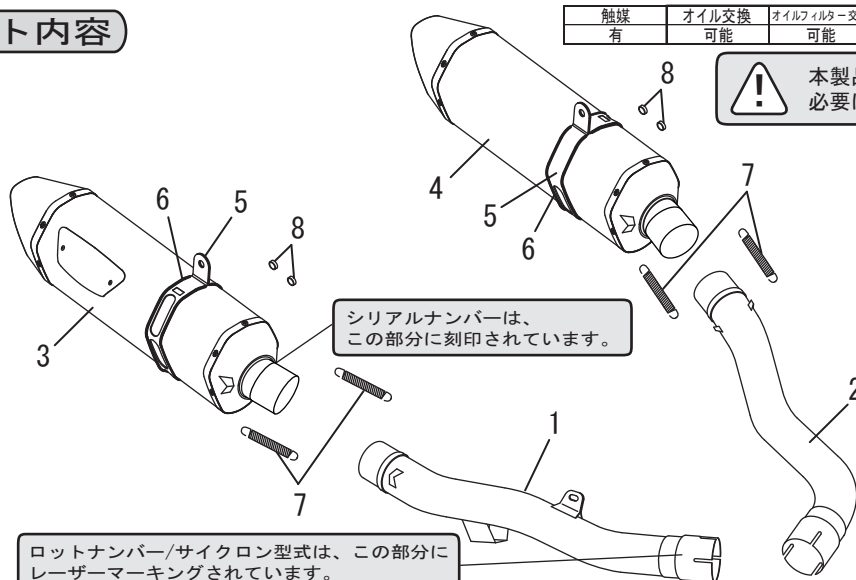
- ▲危険** 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。
- ▲注意** 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。
- 参考** スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

1. 適応車種及び諸元表

車名	Kawasaki ZX-14R (東南アジア/北米/マレーシア仕様) [WMTCモード適合]	
車両型式	東南アジア仕様 ('12- '15)	ZXT40E / ZXT40F (ABS)
	北米仕様 ('12- '15)	ZXNF (ABS)
	マレーシア仕様 ('16- '20)	ZXT40H (ABS) / ZXT40J (High Grade)
エンジン型式	ZXT40EE	
認証番号	JMCA2113001075	
サイクロン型式	K214SHFC1A	
素材	SUS304 / Ti / カーボン	
品番	ステンレスエンド	ステンレスサイレンサー : 110-214-L05C1
		メタルマジックサイレンサー : 110-214-L02C1
		チタンサイレンサー : 110-214-L08C1
		チタンブルーサイレンサー : 110-214-L06C1
	カーボンエンド	ステンレスサイレンサー : 110-214-L05G1
		メタルマジックサイレンサー : 110-214-L02G1
		チタンサイレンサー : 110-214-L08G1
		チタンブルーサイレンサー : 110-214-L06G1
重量	純正サイレンサー : 14.5 kg	
	ステンレスエンド	ステンレスサイレンサー : 7.9 kg
		メタルマジックサイレンサー : 7.9 kg
		チタンサイレンサー : 7.5 kg
		チタンブルーサイレンサー : 7.5 kg
	カーボンエンド	ステンレスサイレンサー : 7.9 kg
		メタルマジックサイレンサー : 7.9 kg
		チタンサイレンサー : 7.5 kg
		チタンブルーサイレンサー : 7.5 kg



2. セット内容



触媒	オイル交換	オイルフィルター交換	センタースタンド	ガスケット	カウル加工	サイレンサーリメイク
有	可能	可能	可能	純正品	無	可能

⚠ 本製品の取り付けには、別途純正ガスケットが必要になります。必ず新品を用意して下さい。

NO.	品名	数	品番	NO.	品名	数	品番
1	テールパイプ R	1	115-214-L001	5	サイレンサーバンド	2	162-50R-J500
2	テールパイプ L	1	115-214-L00A	6	サイレンサーバンド用スペーサーラバー	2	896-016-0835
3-A	サイレンサー R (ステンレスエンド / ステンレスカバー)	1	139-214-L05C0	7	マフラスプリング	4	118-000-1000
	サイレンサー R (ステンレスエンド / メタルマジックカバー)		139-214-L02C0	8	SUSカラー 6-10-3	4	850-207-1003
	サイレンサー R (ステンレスエンド / チタンカバー)		139-214-L08C0	※	スプリングインナーチューブ	4	118-000-1100
	サイレンサー R (ステンレスエンド / チタンブルーカバー)		139-214-L06C0	※	スプリング取付工具	1	100-000-0000
3-B	サイレンサー R (カーボンエンド / ステンレスカバー)	1	139-214-L05G0	※	自動車排出ガス試験結果証明書 (ZXT40E)	1	H581156
	サイレンサー R (カーボンエンド / メタルマジックカバー)		139-214-L02G0	※	自動車排出ガス試験結果証明書 (ZXT40F)	1	H581132
	サイレンサー R (カーボンエンド / チタンカバー)		139-214-L08G0	※	自動車排出ガス試験結果証明書 (ZXNF)	1	H680541
	サイレンサー R (カーボンエンド / チタンブルーカバー)		139-214-L06G0	※	自動車排出ガス試験結果証明書 (ZXT40H)	1	H880357
4-A	サイレンサー L (ステンレスエンド / ステンレスカバー)	1	139-214-L05CA	※	自動車排出ガス試験結果証明書 (ZXT40J)	1	H880141
	サイレンサー L (ステンレスエンド / メタルマジックカバー)		139-214-L02CA				
	サイレンサー L (ステンレスエンド / チタンカバー)		139-214-L08CA				
	サイレンサー L (ステンレスエンド / チタンブルーカバー)		139-214-L06CA				
4-B	サイレンサー L (カーボンエンド / ステンレスカバー)	1	139-214-L05GA				
	サイレンサー L (カーボンエンド / メタルマジックカバー)		139-214-L02GA				
	サイレンサー L (カーボンエンド / チタンカバー)		139-214-L08GA				
	サイレンサー L (カーボンエンド / チタンブルーカバー)		139-214-L06GA				

3. 取付方法

⚠注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

1. SET 内容を確認して下さい。
2. センタースタンド装着車両は、車両をセンタースタンドで立たせて下さい。又、純正アンダーカウル装着車両は純正アンダーカウルを取り外して下さい。
3. メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、フレーム等を損傷しないように注意して、純正サイレンサー左右を、取り外して下さい。（FIG. 1 参照）

⚠注意 右側純正サイレンサーにはセンタースタンドストッパーが取り付けられている為、純正サイレンサーを外した後は、本製品を取り付けるまでセンタースタンドを上げないようにして下さい。

4. 手順3で取り外した左右の純正サイレンサーから、クランプバンドと、センタースタンドストッパーラバー（右側のみ）をそれぞれ取り外して下さい。（FIG. 2 参照）

5. ①テールパイプRに新品の純正ガスケットと手順4で外したクランプバンド、ストッパーラバーを取り付けて下さい。
次に、①テールパイプRを車両のマフラー集合部に取り付け、クランプバンドを仮締めして下さい。（FIG. 3, 4 参照）

⚠注意 ガスケットは必ずメーカー純正品を使用して下さい。

参考 2本のテールパイプのうち、センタースタンドストッパー、テールパイプステーがある物がテールパイプRです。

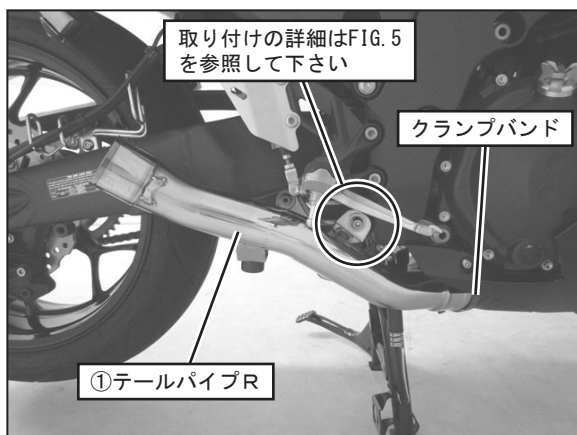


FIG. 4

6. ①テールパイプRのステーを、純正ボルト、純正ワッシャ、純正ナットを使用して仮締めして下さい。（FIG. 4, 5 参照）



FIG. 1

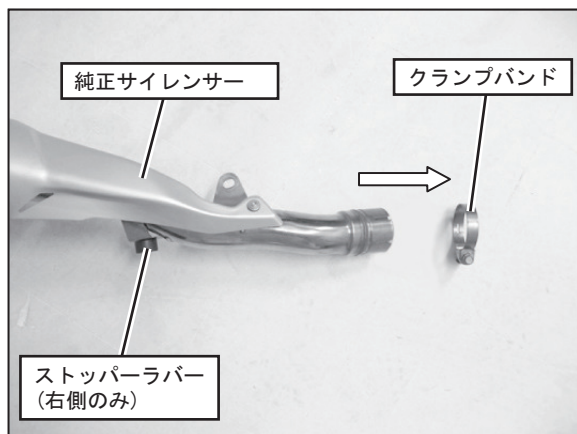


FIG. 2

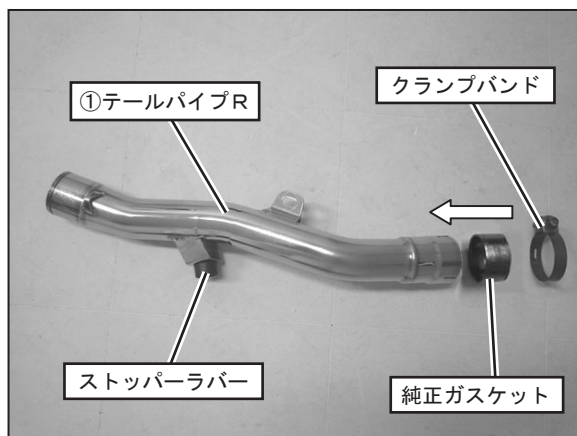


FIG. 3

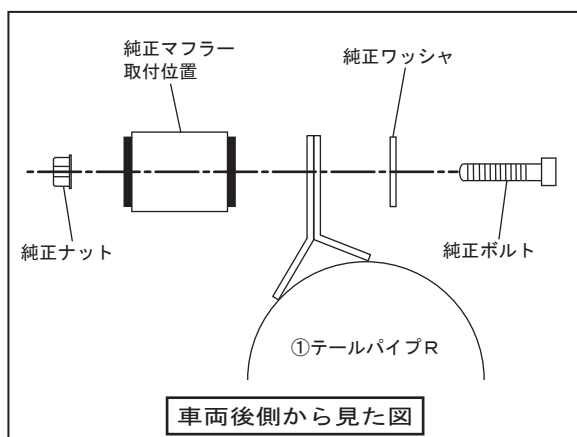


FIG. 5

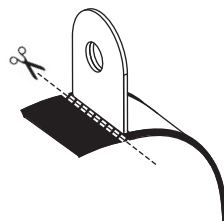
7. ①テールパイプRに、③サイレンサーRを取り付けて下さい。

次に、⑤サイレンサーバンドに⑥サイレンサーバンド用スペーサーラバーを取り付けて③サイレンサーRに通し、純正ボルト、純正ワッシャ、純正ナットを使用して車両の右側タンデムステップブラケットに仮締めして下さい。（F I G. 6, 7 参照）

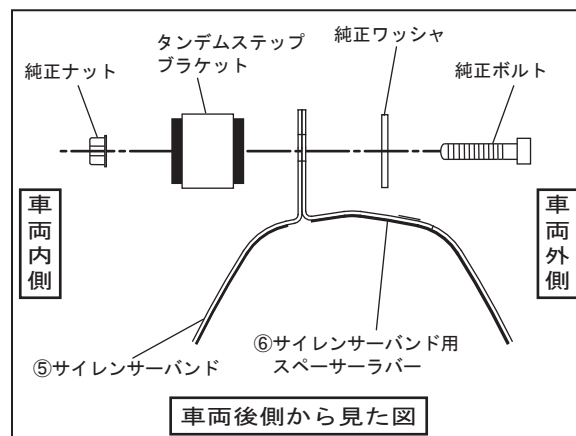
参考 ※サイレンサーバンドにバンド用スペーサーラバーを取り付ける際は、バンド両側の合せ目までラバーが届く向きに取り付けて下さい。
取り付け後、バンドの合せ目部分からはみ出したラバーは、はさみ等で切り取って下さい。

⚠注意 ※サイレンサーに対してバンドを斜めに取り付けると、バンドやサイレンサーが破損する恐れがあります。

※バンドを仮締めする前に、サイレンサーとバンドの間に隙間が無い事を確認して下さい。
隙間がある状態でバンドを締めると、サイレンサーのカバーが変形する恐れがあります。



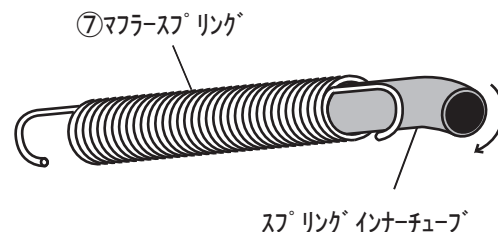
F I G. 6



F I G. 7

8. ⑦マフラスプリング4本全てにスプリングインナーチューブを挿入して下さい。（F I G. 8 参照）

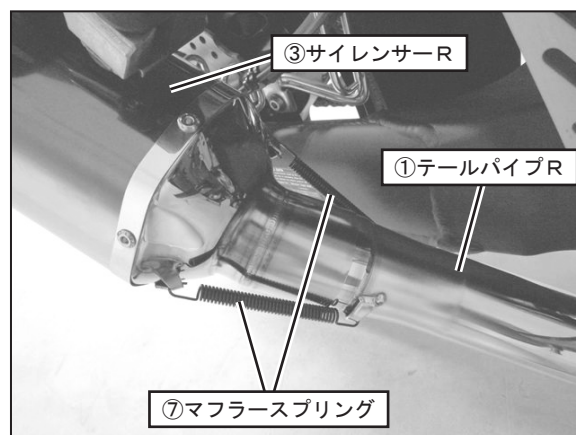
参考 ・スプリングに入れた状態では、インナーチューブが多少はみ出しますが、マフラーに装着した状態でスプリングが伸びて隠れますので問題ありません。
・インナーチューブを入れるとき、チューブを回転させると入れ易くなります。



F I G. 8

9. ①テールパイプRと③サイレンサーRにスプリング取付工具を使用して、⑦マフラスプリングを取り付けて下さい。（F I G. 9 参照）

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に充分注意して下さい。（怪我をする恐れがあります）



F I G. 9

10. ②テールパイプLに新品の純正ガスケットと手順4で外したクランプバンドを取り付けて下さい。
次に、車両のサイドスタンドが出ていることを確認してから②テールパイプLを車両のマフラー集合部に取り付け、クランプバンドを仮締めして下さい。(FIG. 10, 11参照)

⚠注意 サイドスタンドを出しておかないと、テールパイプと干渉し、テールパイプを傷付けてしまう恐れがあります。

⚠注意 ガスケットは必ずメーカー純正品を使用して下さい。

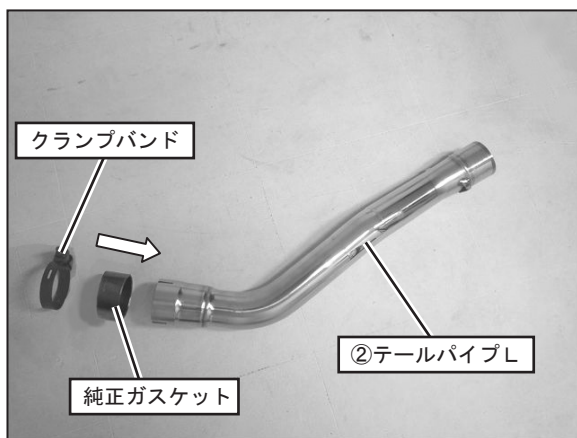


FIG. 10

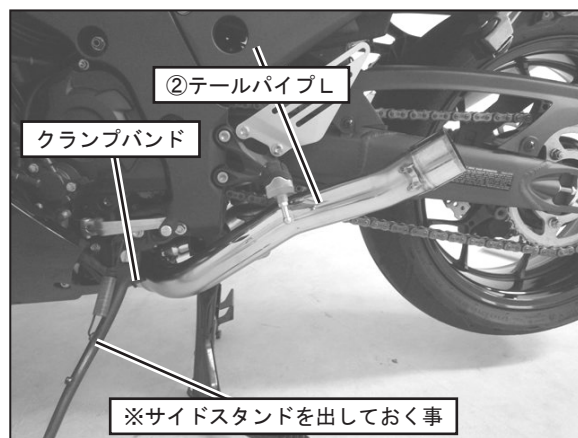


FIG. 11

11. ②テールパイプLに、④サイレンサーLを取り付けて下さい。
次に、⑤サイレンサーバンドに⑥サイレンサーバンド用スペーサーラバーを取り付けて④サイレンサーLに通し、純正ボルト、純正ワッシャ、純正ナットを使用して車両の左側タンデムステップブラケットに仮締めして下さい。(FIG. 12, 13参照)

参考 ※サイレンサーバンドにバンド用スペーサーラバーを取り付ける際は、バンド両側の合せ目までラバーが届く向きに取り付けて下さい。
取り付け後、バンドの合せ目部分からはみ出したラバーは、はさみ等で切り取って下さい。

⚠注意 ※サイレンサーに対してバンドを斜めに取り付けると、バンドやサイレンサーが破損する恐れがあります。

※バンドを仮締めする前に、サイレンサーとバンドの間に隙間が無い事を確認して下さい。
隙間がある状態でバンドを締めると、サイレンサーのカバーが変形する恐れがあります。

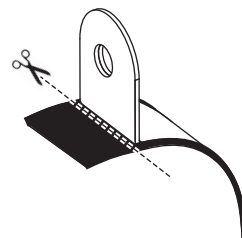


FIG. 12

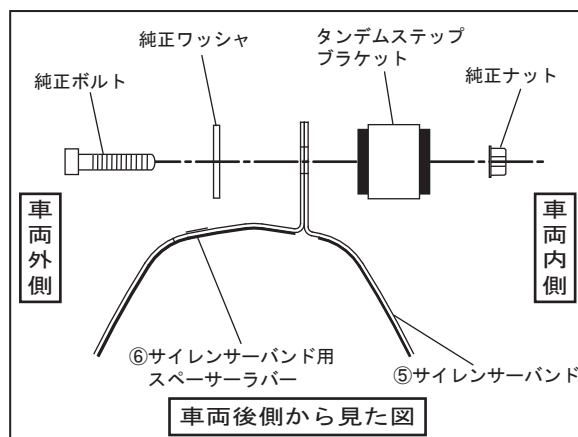


FIG. 13

- 1 2. ②テールパイプLと④サイレンサーLにスプリング取付工具を使用して、⑦マフラーズプリングを取り付けて下さい。(FIG. 14 参照)

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に充分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)

- 1 3. 取り付けたマフラーと車両とのクリアランスや、サイレンサーの傾き、左右のサイレンサーのバランス等を確認し、クランプバンド→テールパイプステー→サイレンサーバンドの順に、規定トルクで締め付けて下さい。(FIG. 15, 16, 17 参照)

⚠注意 規定トルク クランプバンド : 15 Nm
 テールパイプステー : 23 Nm
 サイレンサーバンド : 23 Nm

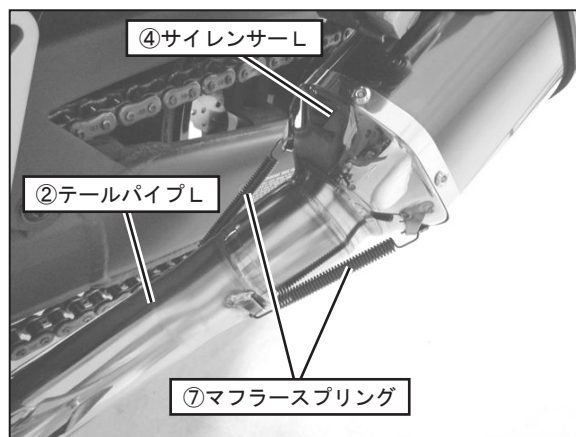


FIG. 14



FIG. 15



FIG. 16

- 1 4. 手順10で出していたサイドスタンドをゆっくりと戻し、②テールパイプLと干渉しない事を確認して下さい。干渉する場合は、締め付けたボルトナットを緩め、干渉しない位置に再調整して下さい。(FIG. 17 参照)

⚠注意 作業時は、テールパイプを傷付けないように注意して下さい。



FIG. 17

- 1 5. センタースタンド装着車両はセンタースタンドをゆっくりと戻し、センタースタンドが①テールパイプRのセンタースタンドストッパーに当たっている事を確認して下さい。位置が合わない場合は締め付けたボルトナットを緩め、当たる位置に再調整して下さい。(FIG. 18 参照)



FIG. 18

16. 左右のタンデムステップブラケットに、純正ボルト、⑧SUSカラー6-10-3を使用して純正ヒートガードを取り付け、規定トルクで締め付けて下さい。(FIG. 19, 20参照)

注意 規定トルク ボタンボルトM6 : 10Nm



FIG. 19



FIG. 20

17. 純正アンダーカウル装着車両は、カウルを留めているステーの左右のボルトを緩めて下さい。次に、ステーにアンダーカウルを取り付け、アンダーカウルがテールパイプに干渉しない位置でボルトを締め付けて下さい。(FIG. 21, 22, 23, 24参照)

注意 規定トルク アンダーカウル : 10Nm
アンダーカウルステー : 23Nm

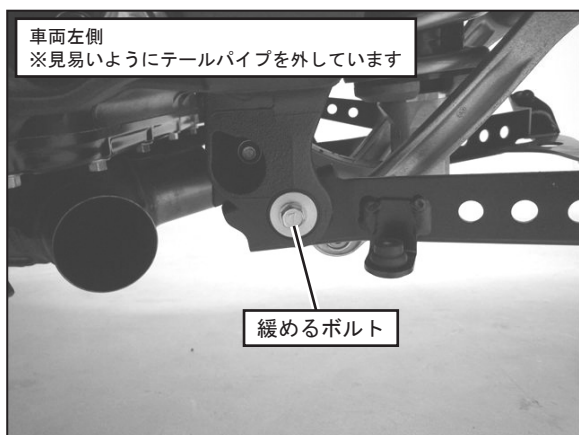


FIG. 22

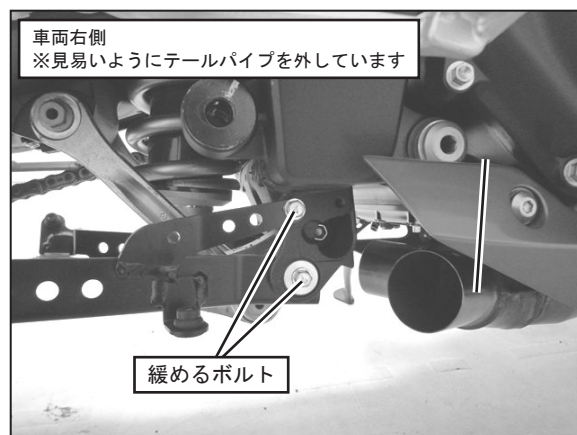


FIG. 21

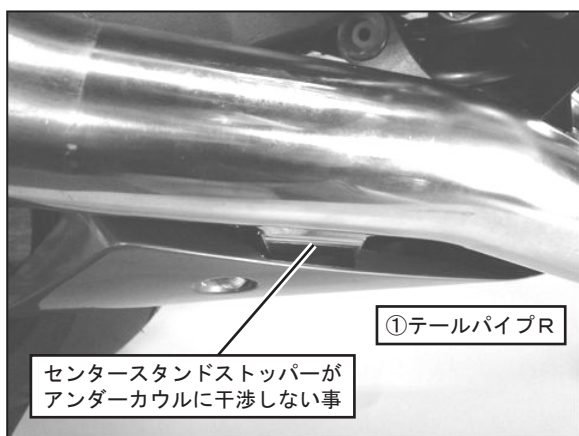


FIG. 23

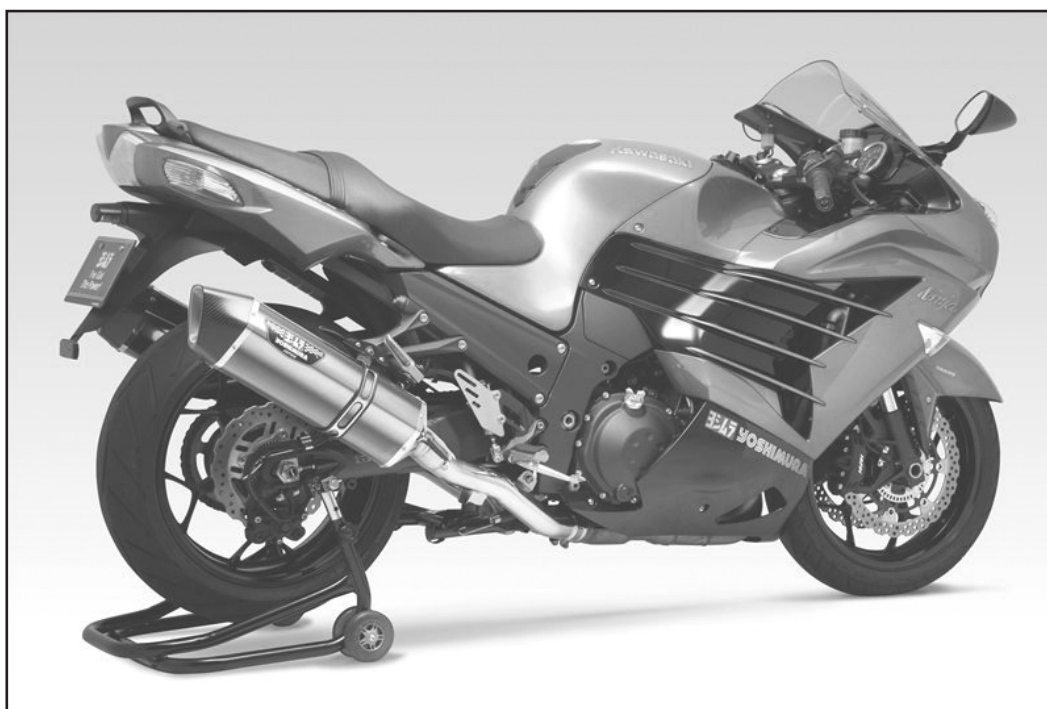


FIG. 24

18. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂しさい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまうことがあります。

⚠注意 ※メタルマジックカバーやエンブレムの色落ちの原因になりますので、中性洗剤以外は使用しないで下さい。

19. 暖気運転を行なって排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。
20. 走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、テールパイプとサイレンサーの差し込み部に、市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。



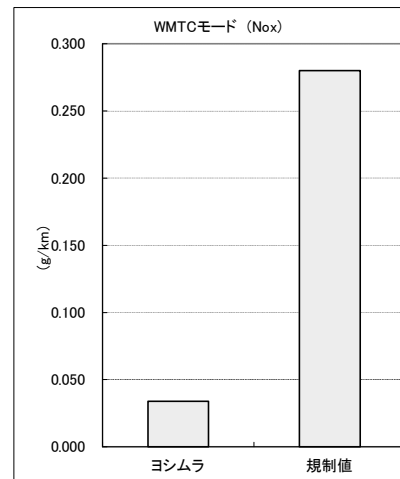
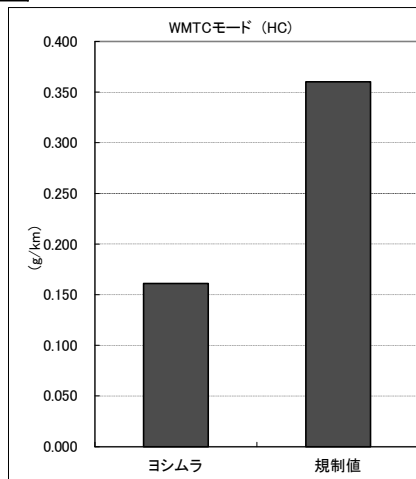
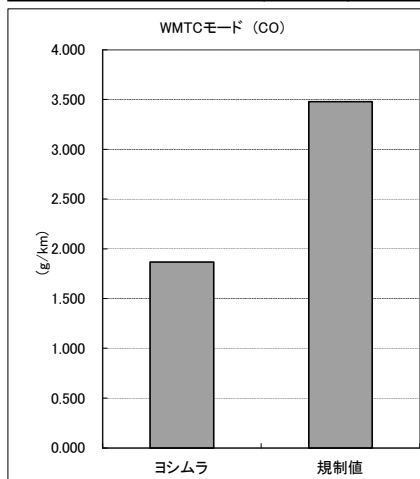
Kawasaki ZX-14R/ABS/High Grade Slip-On HEPTA FORCE サイクロン
2本出し EXPORT SPEC 政府認証

Kawasaki ZX-14R Slip-On Hepta Force サイクロン 政府認証 排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (ZXT40E)

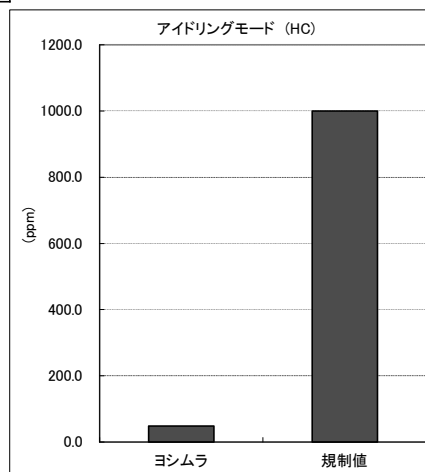
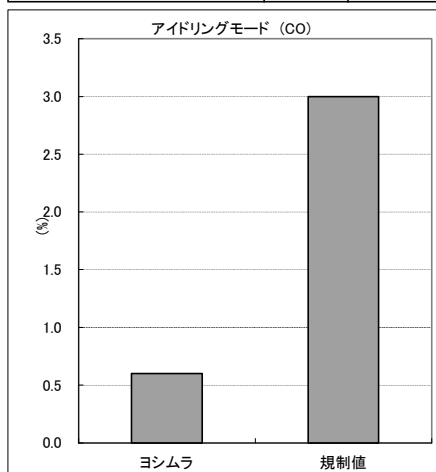
WMTCモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	1.866	3.48
炭化水素HC(g/km)	0.161	0.36
窒素酸化物Nox(g/km)	0.034	0.28
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	151.00	規制無



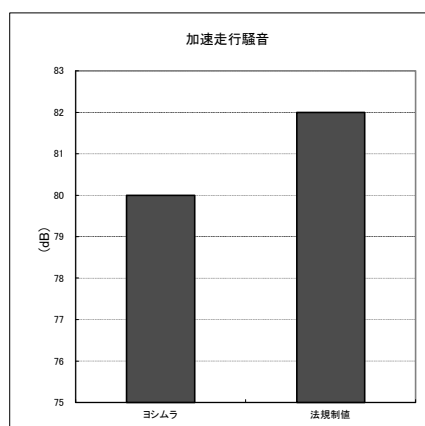
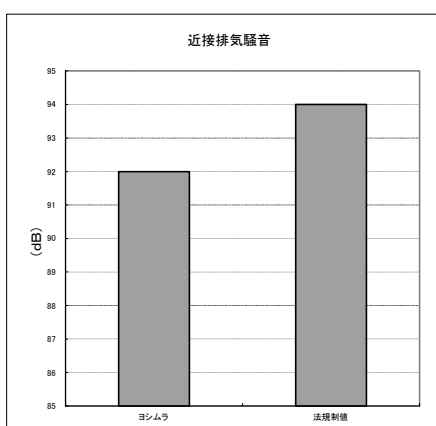
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.6	3.0
炭化水素HC(ppm)	48.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	92	94
加速走行騒音(dB)	80	82

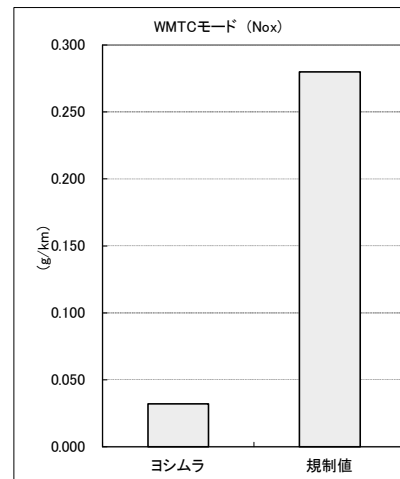
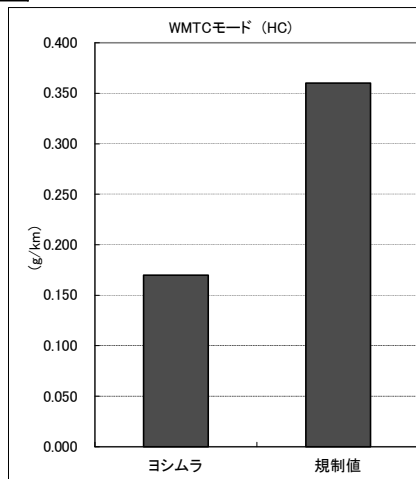
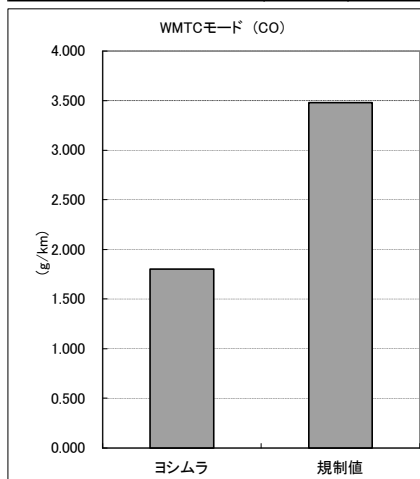


Kawasaki ZX-14R Slip-On Hepta Force サイクロン 政府認証 排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (ZXT40F:ABS仕様車)

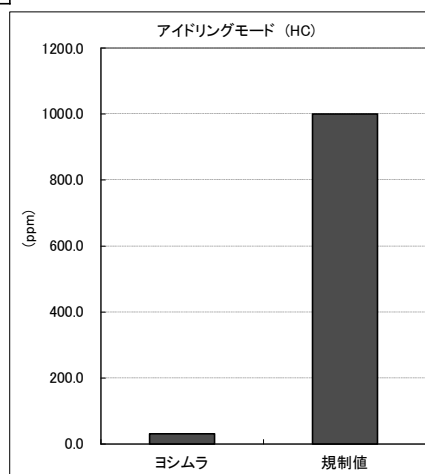
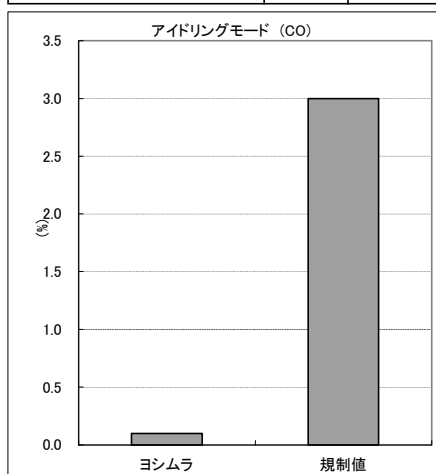
WMTCモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	1.803	3.48
炭化水素HC(g/km)	0.170	0.36
窒素酸化物Nox(g/km)	0.032	0.28
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	153.40	規制無



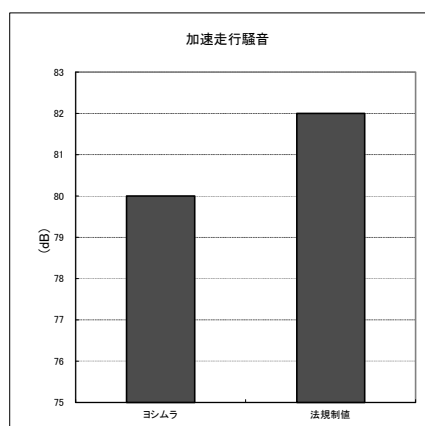
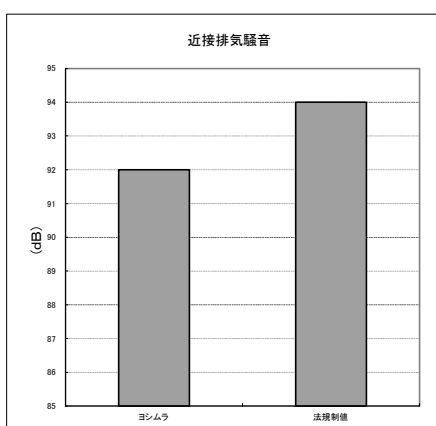
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.1	3.0
炭化水素HC(ppm)	30.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	92	94
加速走行騒音(dB)	80	82

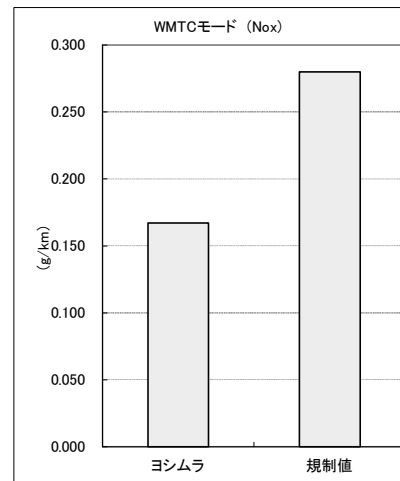
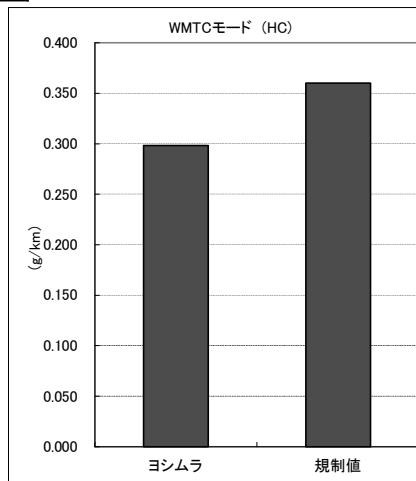
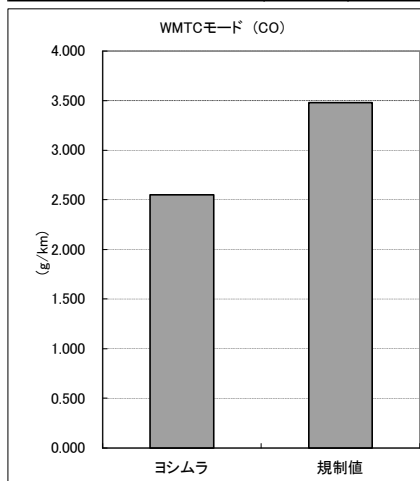


Kawasaki ZX-14R Slip-On Hepta Force サイクロン 政府認証 排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (ZXNF:ABS仕様車)

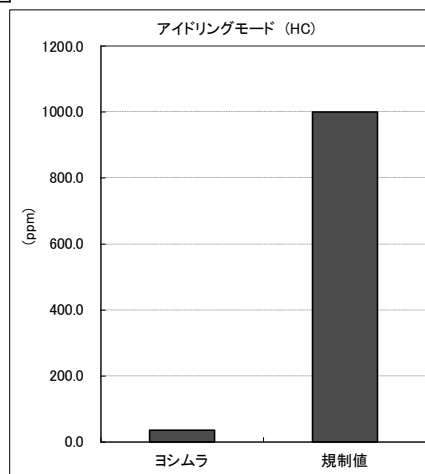
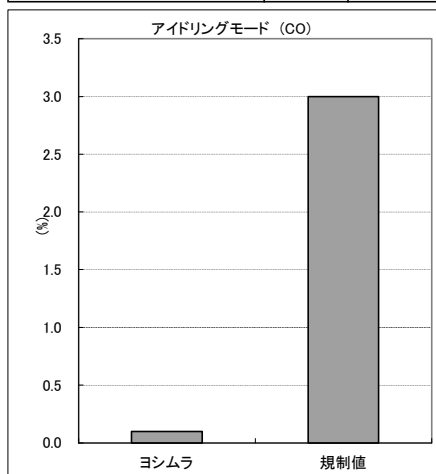
WMTCモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	2.551	3.48
炭化水素HC(g/km)	0.298	0.36
窒素酸化物Nox(g/km)	0.167	0.28
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	145.90	規制無



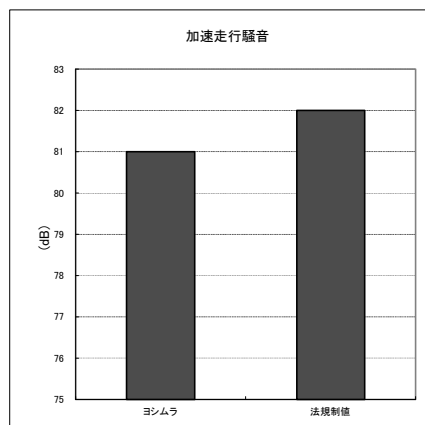
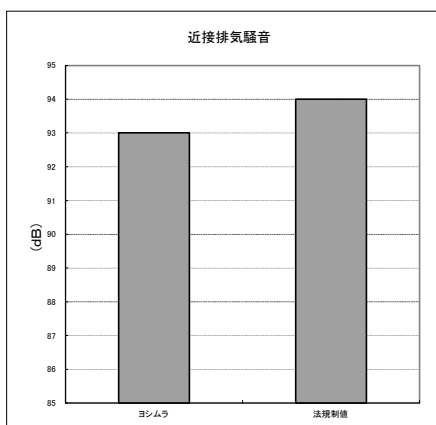
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.1	3.0
炭化水素HC(ppm)	36.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	93	94
加速走行騒音(dB)	81	82

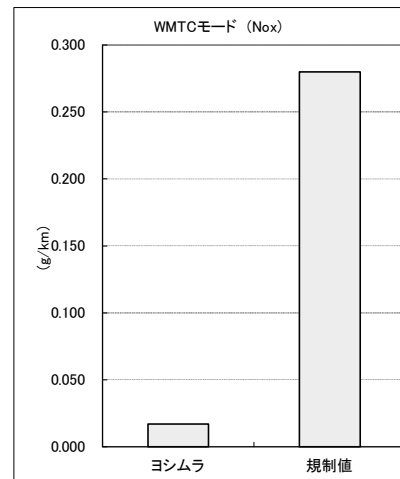
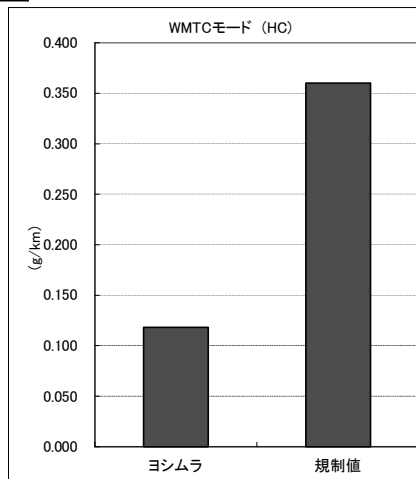
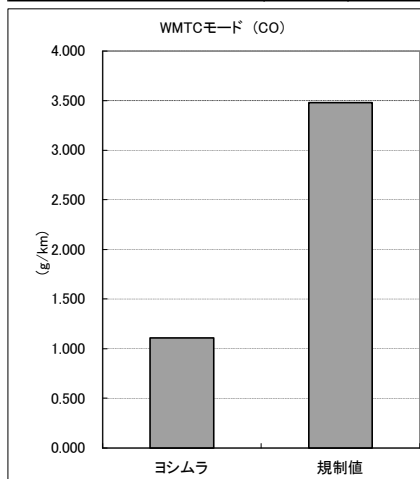


Kawasaki ZX-14R Slip-On Hepta Force サイクロン 政府認証 排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (ZXT40H:ABS仕様車)

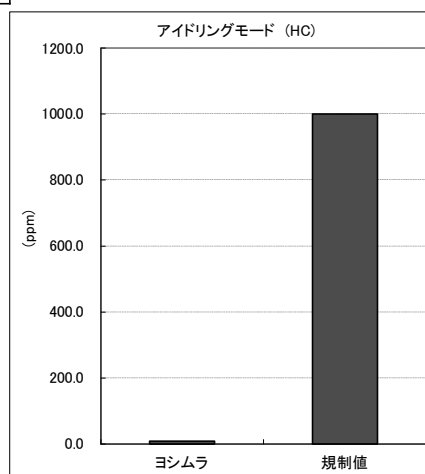
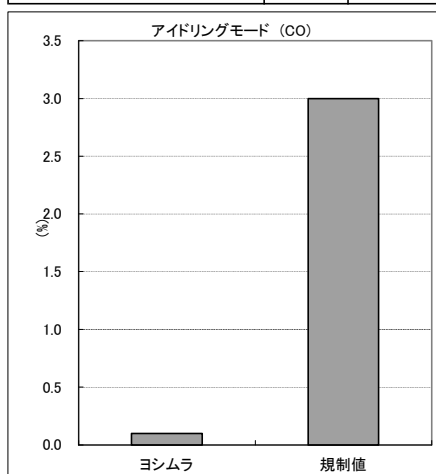
WMTCモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	1.109	3.48
炭化水素HC(g/km)	0.118	0.36
窒素酸化物Nox(g/km)	0.017	0.28
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	147.40	規制無



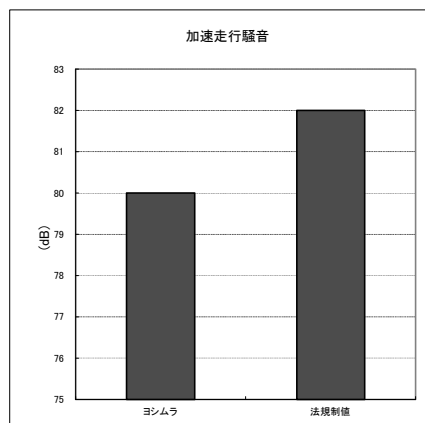
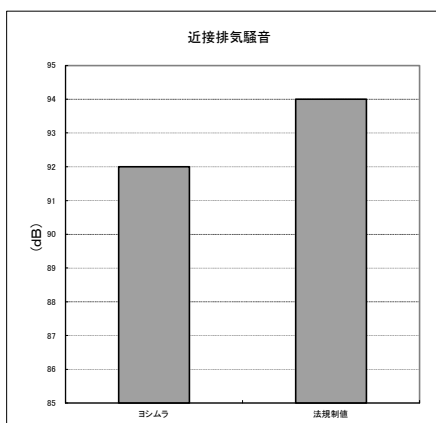
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.1	3.0
炭化水素HC(ppm)	9.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	92	94
加速走行騒音(dB)	80	82

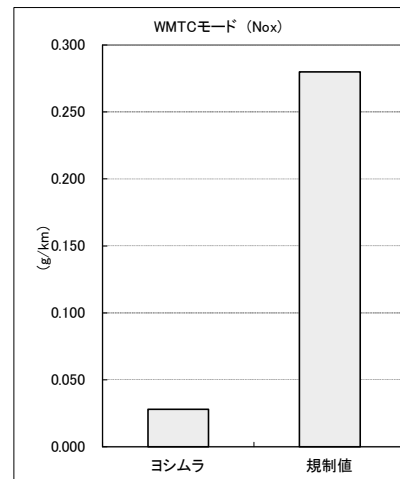
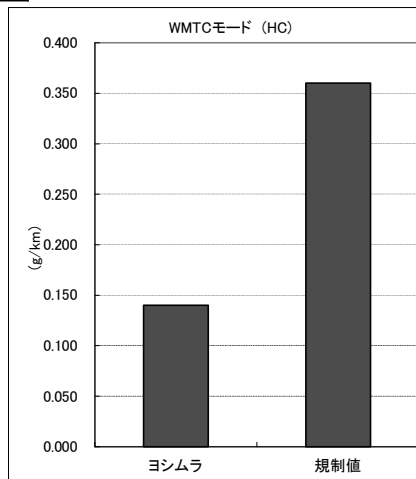
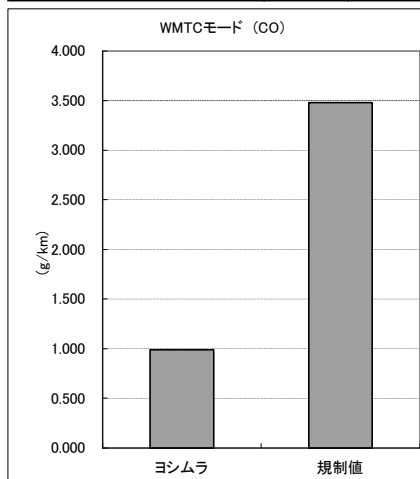


Kawasaki ZX-14R Slip-On Hepta Force サイクロン 政府認証 排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (ZXT40J:High Grade)

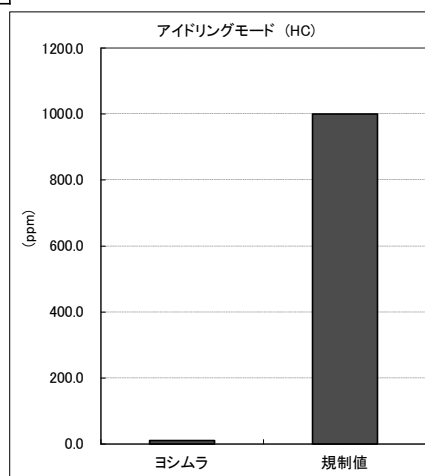
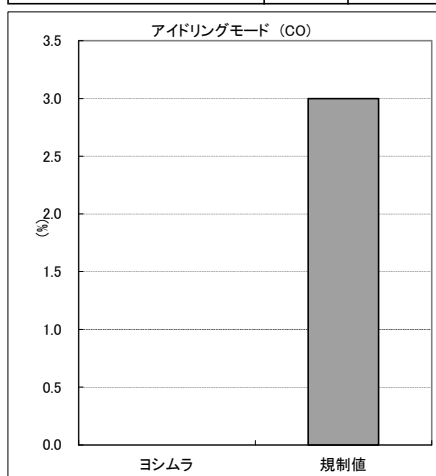
WMTCモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	0.990	3.48
炭化水素HC(g/km)	0.140	0.36
窒素酸化物Nox(g/km)	0.028	0.28
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	153.50	規制無



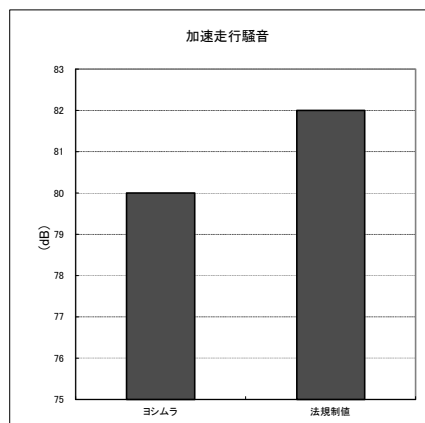
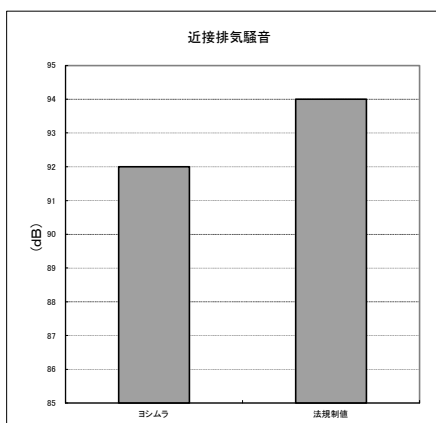
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	3.0
炭化水素HC(ppm)	10.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	92	94
加速走行騒音(dB)	80	82



⚠重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。

⚠危険

- ※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
- ※エンジン停止時に空吹きをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

⚠注意

- ※取付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。
- ※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。
- ※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

●High Flow Magicについて

※本製品は、マフラー内部にハニカム触媒を搭載したキャタライズドサイクロン“High Flow Magic”です。環境問題を考え、排出ガスを低減しつつ従来のDSCサイレンサーと同等の性能を発揮する環境型高性能マフラーです。

●ヨシムラサイクロンのメンテナンス

- ※走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。
- ※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的に増し締めを行い、マフラー各部の点検（変形、キズ、車体との干渉等）を行って下さい。
- ※エンブレム等の色落ちの原因になりますので、パーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。
- ※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

●2年保証について

- ※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から2年間の保証対象となります。
- ※登録方法につきましては右記のQRコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。
- ※使用過程で発生した商品の变色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となりますが、ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧ください。
- ※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

保証登録のご案内



アフターサービスのご案内



オンライン保証登録のご案内： <http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php>

●「政府認証マフラー」について

- ※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。
- ※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はJMC A事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

・マフラーリメイクのご案内 ▶

マフラーリメイクのご案内



- ・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
- ・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

お問い合わせのご案内

